



日時：令和3年10月7日(木)10:30～  
会場：ニューオータニ大阪・鶴の間

## 土サミット 2021 OSAKA・プログラム

(敬称略)

10:00 開場

10:30 開会

### 第1部【特別講演】10:40～12:00

#### 「素材としての土の多様性と今後の展開」

京都大学名誉教授、公益社団法人日本工学アカデミー 副会長 嘉門 雅史

～土とは何かについて、岩石の風化作用等によって作られる土を構成する元素や組成を明示して、土の特性を支配する要因を概観し、地上に生存する人類が土の多様な機能によって支えられていることを述べる。次に循環型社会における土材料の活用のために、建設発生土等のリサイクルの取り組みを紹介し、その際の土に含有する環境影響などのリスクを低減する必要性に触れるとともに、今年7月3日に発生した熱海市土砂災害について言及し、建設発生土等の適正処分が今後も重要な課題であることを述べる～

### 第2部【講演】13:00～15:40

13:00～13:40

#### ◆「建設リサイクル行政の最近の話題」

国土交通省総合政策局公共事業企画調整課

インフラ情報・環境企画調整官

隅藏 雄一郎

～推進計画2020の概要、建設発生土の現状と課題・取り組むべき施策・

不適正処理の現状と対応、盛土による災害防止に向けた総点検について～

13:40～14:20

#### ◆「建設資材としての土に求められるもの」

京都大学大学院 地球環境学堂・学舎長 教授

勝見 武

～災害廃棄物分別土、建設汚泥再生品の利用(昨年7月の環境省通知を受けて)、

自然由来重金属含有土の利用なども含め発生土の利用と管理全般について～

14:20～15:40

～各業界のリサイクル方法・技術について～

#### ◆ 建設発生土のリサイクルについて

環境テクノサービス株式会社 取締役副社長

松本 和彦

#### ◆ 汚染土のリサイクルについて

一般社団法人日本汚染土壌処理業協会 理事長

辻本 健二

#### ◆ 汚泥のリサイクルについて

大阪ベントナイト事業協同組合 プラント統括技術長

水野 克己

～建設発生土の公共・民間工事間利用促進のための情報交換システムについて～

◆ 「建設発生土の官民有効利用マッチングについて」

株式会社日本能率協会総合研究所 主任研究員

松橋 宏明

～20 分間休憩～ 質問用紙にて参加者からの質問受付

**第3部【質疑応答】** 16:00～16:30

コーディネーター：(一社)全国建設発生土リサイクル協会

専務理事 高野 昇

～質疑応答テーマ～

「土」の有効利用における課題と解決に向けて

〈登壇者〉

- ・国土交通省 総合政策局公共事業企画調整課インフラ情報・環境企画調整官 隅藏 雄一郎
- ・京都大学大学院 地球環境学堂・学舎長 教授 勝見 武
- ・講演者 4 名

**会員からの提案書の発表**

～質を重視した建設発生土の更なる利用促進に向けての提案～

16:40 閉会

